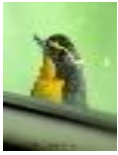


一心太助の天秤棒

～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担いで売り歩く～



越谷市会議員 白川 ひでつぐ
シリーズ/NO 110



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来19年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝、夜の駅立ちは、通算3800日を超え5期目残り1年になりました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前での様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は現在72名です。100名を超えると、スマートフォンでのライブ配信をすることが出来ます。所要時間はたった1秒！画面をタップするだけ！ご協力お願いします。

チャンネル登録



ぐしゃぐしゃにされた市政レポート

今朝の駅立ちは、新越谷駅東口でいつもの通り午前5時50分から8時半までの2時間30分を超えて実施した

駅到着後、街宣用具の設置を開始して駅前清掃を行い市政レポートの配布を開始した。

この駅でものぼりやテーブル、看板等の街宣用具のほかに、駅入口に市政レポートを収納したスタンドを設置している。そのため駅立ち終了後に撤収に向かった。

ところが、用意していた市政レポートは、何時もの様に市民の方が引き抜いて頂いているのだが、残った市政レポートのうち一枚がぐしゃぐしゃになった状態になっていた。私のいる場所からは全くスタンドは見えていない。

しかし、雨が降っていたわけでもなく風が強かったわけでもないのに、想像の域だが誰かが

市政レポートを一旦引き抜いて、ぐしゃぐしゃにしたあげくに元に戻したのだろう。勿論確証はないし推測の範囲だが、誰かに不平不満をぶつきたい、そんなささくれだった気持ちを持つ市民かもしれない。私に直接ぶつけて頂ければとも思った。やはり分断と不信がまん延する社会になっていることを改めて感じた朝だった。

(5月20日・金曜日)

女性の地位向上の制度を批判する 市民を説得できるのか

5月21日午後1時から、市川房枝政治参加フォーラム 2022「議会はあなたを待っている」のセミナーが都内で開催され参加した。

基調講演として「女性が政治を変えるとき」と題して、立教大学名誉教授から講演がありその後現職の区・市議会議員から住民参加型選挙運動の報告があった。

その中で、女性の国会議員は全体の一割弱という国際的には極めて低レベルの位置にあり、これを解決するためには、立候補に関して女性のクォーター制やパリティを採用することが、有効な方法であると強調された。

しかし現状では一向に改善しない状況が続いている。それはこれらの制度導入に対して反対する意見も根強く、彼らの主張に対して私たちは説得や合意が出来るのだろうか。

以下の点の論点を想定したのだが、果たして反論や合意が出来なければ広がらない。

選挙に立候補するのは様々なリスクを引き受けた上に、当選するとは限らないし、当然落選によって不利益を被る事もしばしば起こる。

従って、これらを前提として以下の点の主張を述べてみる。

まず第1に、男性だろうが女性だろうが、選挙では総力をあげて当選を果たすための努力を傾注する。その努力の結果当選したり落選したりするのであって、そこに女性だけに“下駄を履かせて”しまえば、この努力の公平さが失われるのではないかと。第2点目は、選挙制度の改正を求めるのなら、現状の制度例えば被選挙権25歳であるとか、または一票性を二票制にするとか、制度の改正をすべき優先順位は他にあるのではないかと。

第3点目に立候補者に投票をするのは、有権者・市民であるため、制度を改正する前に

(裏へ続く)

低投票率である現状を変える意味からも、市民意識を変えていくためにも、普段の活動が問われている。その活動を抜きに制度だけを変えるのは本末転倒ではないのか。第4点目に、このような現状の中でも女性議員は、それなりに当選をして活動をされている。

しかし果たして ジェンダー平等と言う視点を持つ女性議員が全員とは言えない現状があり、女性だから優秀だとは言えない現実をどう説明するのか。(5月21日・土曜日)

越谷市長とともに、 駅前市民対話集會を開催



5月23日午後6時30分から、せんげん台駅西口を会場に私の「駅前市民対話集會」を開催した。当日は福田晃越谷市長をゲストスピーカーにお呼びして、市政全体の中での課題や3月議会での令和4年度の重点事業や問題点について話題提供を冒頭行った。

そのシーンの全てをYouTubeチャンネルを通してライブ中継で配信した。

その後これに対して駅前に参加をさせていただいた市民の皆さんからの質問や意見をお聞きしてお答えをする、まさに対話を中心として進行を心掛けた。

次々と市民の方から質問が続き、どんな質問も一切の制限を設けずに対応するので、その場での運動神経が試される。

中には、春日部駅を始め東武鉄道の各駅でゴミ拾いのボランティア活動をしている高齢男性から、せんげん台駅東口と西口周辺での陳情を4件も受けた。後日これらの問題に対応することを約束したのだが、これも対話集會のひとつの形だろう。

市長からは、まさに市政全般への対応が求められることから、市長自身もこのような取り組みは参考になる、との感想だった。

午後8時前には、終了したので、最寄りの居酒屋で市長を交えてスタッフの皆さんと“反省会”を口実に大いに懇親を深めた。

https://www.youtube.com/watch?v=DVBPMc0XcKY&t=2241s

(5月23日・月曜日)

今日から6月議会、 一般質問に21人議員が登壇

今朝の駅立ちは、せんげん台駅西口で実施をしたので、いつもの通り午前4時すぎに起床して、午前5時15分過ぎから市政レポートの配布を開始した。この直前に馴染み30代のサラリーマンの方とお逢いをした。いつもの時間よりも早い時間だったので、今日はずいぶん早いのですが、どうかされたんですかとお聞きしたら、勤務の形態が変わったのでこの時間に出勤するようになりました、と言ってエスカレーターを上って行かれました。

次々と市政レポートの配布が続いたが、本日は、6月越谷定例市議会の初日で、午前10時から本会議が開始された。そのため、午前8時30分過ぎの終了と共に迎えに来た妻の車に慌ただしく乗って、市役所に直行した。

議場では、市長から冒頭に市長提出議案が8件上程され、提案説明が行われた。

午前中には、初日の会議は終了したが、市政全般にわたり、個々の議員がそれぞれの問題意識で市長や、教育長に質問する「一般質問」の受付と、発言の順番を決めるための抽選が実施された。希望性なので今回は32名の議員の中で21名が一問一答方式の質問を1時間の持ち時間の中で実施することになった。1日5人のペースで6月7日から4日間の会期が設定され質問が行われる。(6月1日・火曜日)

父が作ったイチゴジャムです、 食べてください

今朝の駅立ちは、北越谷駅東口で午前5時45分から開始をした。午前7時40分頃細川越谷市会議員から話しかけられた。これから駅頭での活動をするとの事だったので、それはもちろん大丈夫ですが、8時まであと15分くらいしかありませんがと話していたら、大丈夫ですとの返答だった。

ちょうどこのやりとりをしている最中、馴染みの30代の女性が近づいてこられて、バッグの中から、これは父が手作りしたイチゴジャムです、食べてくださいと差し入れをいただいた。ええ頂いてよろしいですか、以前もお父様がつくられた野菜をいただきましたので、今回も含めてお礼を伝えて下さい、と頭を下げた。

(6月3日・金曜日)